

史料目録 第91集

信濃国松代真田家文書目録  
(その12・完)

平成23年3月

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館  
調査収集事業部

史料目録 第91集

信濃国松代真田家文書目録  
(その12・完)



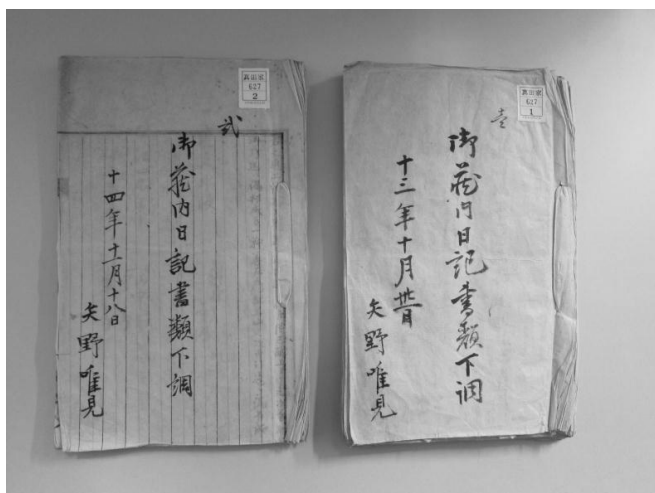


写真1 御蔵内日記書類下調 巻・弐(寄 627-1.2)

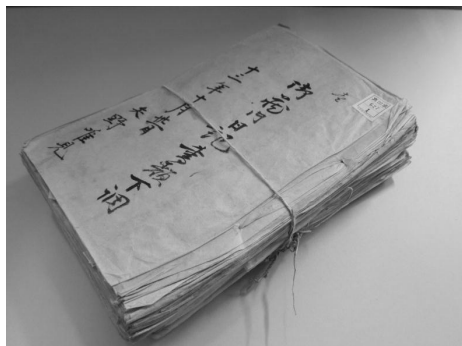


写真2 御蔵内日記書類下調一括(寄 627)

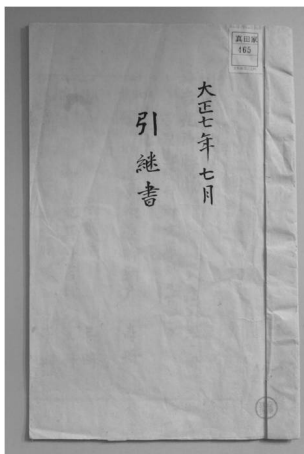
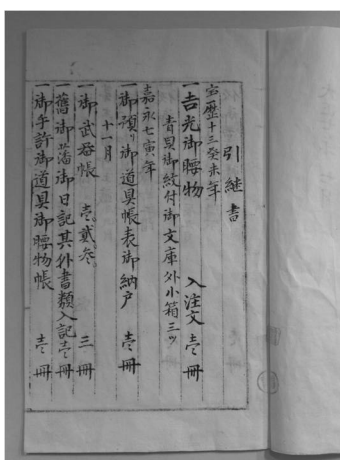


写真3 引継書(寄 465)

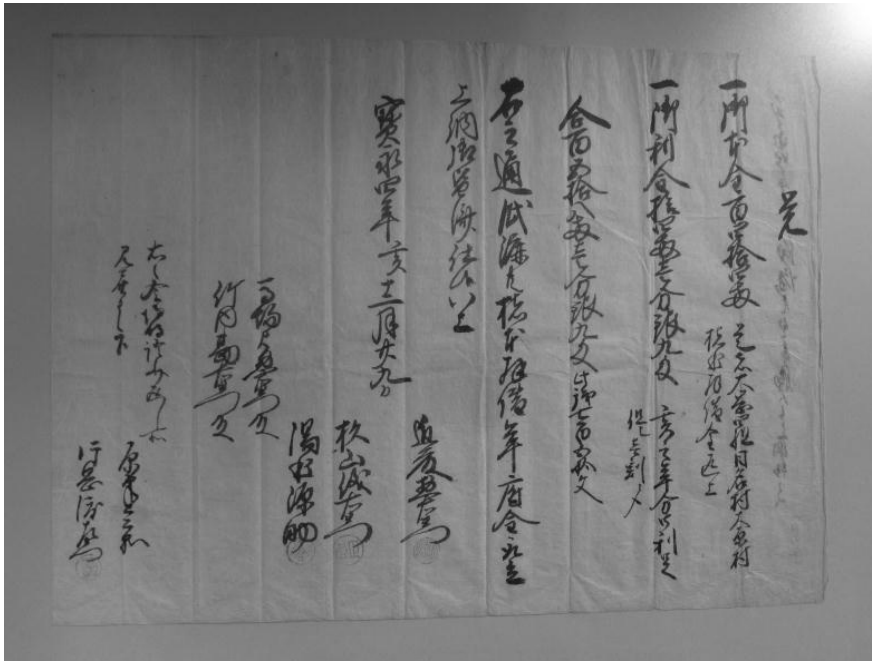


写真4 [覚] (紙漉共楮本拝借年賦金金利金共158両余上納皆済に付) (や12)

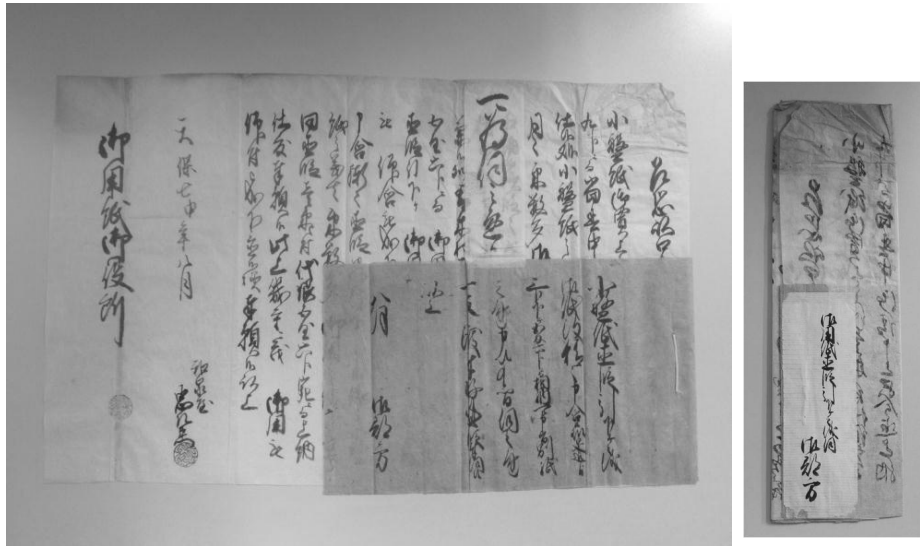


写真5 小盤紙値段引下一件書類綴 天保7年8月(む14)

## 凡 例

- 1 本目録は、『史料目録』第91集として「信濃国松代真田家文書（その12・完）」を収めた。  
「信濃国真田家文書（その一）」は『史料館所蔵史料目録』第二十八集として、昭和53（1978）年に刊行した。その後、目録（その二）から目録（その11）まで刊行してきた。今年度は目録（その12・完）を刊行する。本目録には、付録として「受託史料 真田家文書」も収載した。これによって当館で収蔵している真田家文書全体の目録編成は終了することとなる。
- 2 目録の編成にあたっては文書群の管理・保存部局と作成部局に留意し、ISAD（G）（国際標準：記録記述の一般原則）の考え方も参考にしつつ、項目で編成する方式をとった。
- 3 真田家文書の未整理史料の把握のため現状調査した折りに、解題で述べるように箱番号としてアルファベットを付したが、これまでの刊行目録の番号付与の方法との整合性をはかり、かつデータ処理の統合性を保つために、本目録では、「H・I・T・U・V・W・X」をそれぞれ「ほ・ま・み・む・め・も・や」と置き換えた。加えて、目録（その二）から（その五）で未収載の史料は、当該目録の番号のままとした。付録として、真田家寄託の「真田家文書」を「寄」として収録した。
- 4 袋・こより紐などによる一括史料は、史料館へ譲渡後の仮整理時に一括されたと推定されるものも含め、すべて現状のまま一括掲載し、枝番号付与で物理的階層を示すこととした。一括内の個々の史料配列順も原則として現状通りとし、並び替えは行わなかった。一括史料に表題がない場合は、仮に全体表題を付与して（ ）内に記した。
- 5 史料1点ごとの記述は、①表題・作成等（表題、作成→宛所、備考）、②年代（作成年月日）、③形態・数量、④整理番号、の順に記載した。  
表題は、本目録の大半を占める書付型史料の場合、原則として差出人＋文書名のかたちで付与した。表題の付与に当たり、原文書に柱書がある場合は表題の後に〔 〕で記した。また、柱書がない場合で端裏書など文書管理文言がある場合は、それを採用し、（端裏書）〔 〕と標記した。また、表題や柱書だけで不十分な場合は、さらに（ ）で内容を摘記した。表題などで、□・〔 〕が付されているのは、原史料が虫損などにより解読不能のためである。  
作成・宛所で、- →、→ - と - を付しているのは、作成ないし宛所が不明であることを示している。  
形態は、本目録の大半を占める書付型史料の場合、堅紙、折紙、堅切紙、横切紙、堅継紙、横切継紙、小切紙などと表記することで、料紙の使用法の違いを示した。冊子型史料の場合、半（半紙縦折判）、美（美濃紙縦折判）、美大（大美濃紙一大直紙一縦折判）横長半（半紙横折判）、横長美（美濃紙横折判）、横半半（半紙半載横折判）、横美半（美濃紙半載横折半）、などの略称によって原書の大概を示した。また絵図など大きいものは寸法をタテ×ヨコのようにcm単位で表記した。  
なお、端裏書、印刻、包紙・封筒上書等については、特に必要と思われる場合に、必要な部分に限って記した。
- 6 本目録では史料が保管されてきた秩序に応じて史料番号を付与したため、目録上では史料が番号順および編年に並んでいない。そのため検索には不便をきたすので、史料の引用に際しては番号のほか掲載

頁も併記することをお願いしたい。

7 本目録は研究部の青木睦が担当し、太田弥保、佐藤有、志田達彦、高橋伸拓（以上 2008 年度）、榎本博、清水邦俊、鈴木直樹、種村威史、長谷川雅也（以上 2008 年度～2009 年度）、小田真裕、北村厚介、萩原拓己（以上 2009 年度）、三浦麻衣子、南隆哲、佐藤愛未（以上 2010 年度）、入口敦志、藤島綾の諸氏の協力を得た。特に、種村威史氏の尽力は大きい。

---

## 総目次

---

口絵

凡例

総目次

本文細目次	1
信濃国松代真田家文書目録（その12・完） 解題	9
I 信濃国松代真田家文書目録（当館所蔵）	9
文書群記号	9
文書群名	9
年    代	9
数    量	9
入手の経路	9
真田家文書について	9
1 真田家と松代藩の歴史	9
2 真田家文書の管理と伝来	10
3 松代藩の職制について	16
4 収録文書群の整理と目録編成	16
5 個別文書群内の概要	18
II 真田家寄託 信濃国松代真田家文書目録解題	31
文書群記号	31
文書群名	31
年    代	31
数    量	31
入手の経路	31
真田家寄託真田家文書について	31
1 真田家寄託文書の管理と伝来	31
2 収録文書群の整理と目録編成	31
3 個別文書群内の概要	32
[真田家文書関連文献一覧]	39



